

養液土耕トマトの施肥・かん水管理指標

養液土耕栽培は、土壌を培地とし作物の生育に応じて養分と水分を同時に供給する栽培方法です。

生育時期別の施肥とかん水管理の指標 (株当たり)

生育ステージ	月/日	窒素施用量 (mg/日)	晴天日の かん水量 (L/日)	肥料希釈倍率
定植～4日間	5/07～10	93	5.1	6,600
～3段開花期	5/11～31	53	1.5	3,300
～8段開花期	6/01～30	204	2	1,400
〃	7/01～19	150	2.4	2,250
～12段開花期	7/20～31	119	3.4	4,000
〃	8/01～15	95	3.4	5,000
～16段開花期	8/16～31	112	2.2	2,800
～12段収穫終了期	9/01～30	106	2	2,700
～15段収穫終了期	10/01～31	56	1.2	2,900
	平均	112	2.1	2,678
	1作の合計	20g	383L	

注1) 定植苗は1花房開花済みのものとし、目標収量を株当たり7.5kg(1～15段果房)とする。

2) 曇天日のかん水量は晴天日の2/3とし、雨天日は晴天日の1/3～0とする。

3) 定植から3段開花期までは、りん酸含量の高い肥料(N:P₂O₅:K₂O = 12:20:20)を施用し、それ以降は加里含量の高い肥料(N:P₂O₅:K₂O = 14:8:25)を施用する。

👉 特に注意する点は！

施肥

3～8段花房が開花し窒素吸収量が多くなる6月は、1日の施肥窒素量を株当たり204mgと多くする。

かん水

安定した収量が得られるように7月下旬から8月上旬までの猛暑期は、晴天日のかん水量を株当たり3.4Lと多くする。

収穫開始期(品種‘桃太郎8’)



生育後期の収穫果実

